

## 業績一覧

### 著書・編著・共編著（学術書・雑誌特集号）

---

- 印刷中 雑誌特集号  
Jean-Frédéric Schaub et Yasuko Takezawa eds. *Circulations et Métamorphoses du Racism et de L'antiracisme*, POLITIKA, Paris: École des hautes études en sciences sociales 仏国立社会科学高等研究院
- 印刷中 共編著（編集委員長） 『ひょうごの多文化共生』 兵庫県制 150 年記念刊行事業、神戸新聞総合印刷。
- 2020 田辺明生・竹沢泰子・成田龍一編『環太平洋地域の移動と人種一統治から管理へ、遭遇から連帯へ』 京都大学学術出版会。428 頁。
- 2020 Takezawa, Yasuko and Laura Kina, *Special Issue: Trans-Pacific Minor Visions in Japanese Diasporic Art. Asian Diasporic Visual Cultures and the Americas (ADVA)*, 6:1. 212p.
- 2019 竹沢泰子、ジャン＝フレデリック・ショブ編 『人文学報 特集：人種主義・反人種主義の越境と転換』 京都大学人文科学研究所。
- 2019 Yasuko Takezawa and Laura Kina eds. *Forum: Trans-Pacific Japanese Diaspora Art: Encounters and Envisions of Minor- Transnationalism. Amerasia Journal*, 45(3). University of California, Los Angeles (UCLA).
- 2017 『新装版 日系アメリカ人のエスニシティー強制収容と補償運動による変遷』 東京大学出版会。320 頁。
- 2016 Yasuko Takezawa and Gary Y. Okihiro eds. *Trans-Pacific Japanese American Studies: Conversations on Race and Racializations*. University of Hawai'i Press. 456p.  
シリーズ『人種神話を解体する』（編集責任 竹沢泰子）東京大学出版会
- 2016 『1 In(Visibility) 可視性と不可視性のはざままで』（齊藤綾子・竹沢泰子編）296 頁。
- 2016 『2 Knowledge 科学と社会の知』（坂野徹・竹沢泰子編）344 頁。
- 2016 『3 Hybridity 「血」の政治学を越えて』（川島浩平・竹沢泰子編）384 頁。
- 2011 Yasuko Takezawa ed. *Racial Representations in Asia*. Kyoto: Kyoto University Press/Transpacific Press.

- 2011 竹沢泰子編『人文学報 100 号 特集：差異の表象』 京都大学人文科学研究所。
- 2011 『移民研究と多文化共生』（日本移民学会編、編集委員長） 御茶の水書房。
- 2009 竹沢泰子編『人種の表象と社会的リアリティ』 岩波書店 328 頁。
- 2009 『文化人類学 特集：多文化共生と文化人類学』、74 巻 1 号（編集委員長 竹沢泰子） 日本文化人類学会
- 2005 竹沢泰子編『人種概念の普遍性を問うー西洋的パラダイムを超えて』 人文書院 550 頁。
- 1995 *Breaking the Silence: Redress and Japanese American Ethnicity.*  
Cornel University Press, 236p.
- 1994 『日系アメリカ人のエスニシティー強制収容と補償運動による変遷』 東京大学出版会 304 頁。

### 学術雑誌論文 ・ 論文集分担章

---

- 印刷中 “Whiteness in Japan” *The Routledge Critical Whiteness Studies Handbook*, London: Routledge.
- 印刷中 「中世におけるユダヤ人・「ジプシー」・河原者をめぐる「特権」言説」  
『部落解放研究』213号（*Ethnic and Racial Studies* に2020年に掲載された論文を大幅に加筆したもの。）
- 印刷中 「「人種」とヒトの多様性ー学校でのまなびのためにー」 中山京子ほか編  
『「人種」「民族」概念への挑戦』 明石書店。
- 印刷中 「ひょうごの多文化共生概観」ほか 『ひょうごの多文化共生』 神戸新聞総合印刷。
- 2020 Takezawa, Y., & Kina, L. (2020). Trans-Pacific Minor Visions in Japanese Diasporic Art. *Asian Diasporic Visual Cultures and the Americas* (ADVA 英), 6:1. pp. 1-10.
- 2020 Major- and Minor-Transnationalism in Yoko Inoue's Art: Power Dynamics and Practices of Co-production. Special issue: Trans-Pacific Minor Visions

- in Japanese Diasporic Art. *Asian Diasporic Visual Cultures and the Americas* (ADVA 英), 6:1. pp. 27-47.
- 2020 Racialization and Discourses of “Privileges” in the Middle Ages: Jews, “Gypsies”, and Kawaramono, *Ethnic and Racial Studies*, 43:16. pp. 193-210.
- 2020 座談会「トランプと移民問題」 『アメリカ研究』 54号、日本アメリカ学会、1-19頁。
- 2020 成田龍一・田辺明生・竹沢泰子共著「序論」  
田辺明生・竹沢泰子・成田龍一編『環太平洋地域の移動と人種一統治から管理へ、遭遇から連帯へ』京都大学学術出版会、1-28頁。
- 2020 「「ほどく」「つなぐ」が生み出すマイナー・トランスナショナリズムー井上葉子とジーン・シンの作品と語りから」  
田辺明生・竹沢泰子・成田龍一編『環太平洋地域の移動と人種一統治から管理へ、遭遇から連帯へ』 京都大学学術出版会、361-408頁。
- 2019 “Introduction Trans-Pacific Japanese Diaspora Art: Encounters and Envisions of Minor- Transnationalism,” Yasuko Takezawa and Laura Kina (eds.) *Amerasia Journal* (UCLA), 45(3), pp. 373-376.
- 2019 “Encounters with Transmigrants and a Navaho Chef: Yoko Inoue. Special issue Trans-Pacific Japanese Diaspora Art: Encounters and Envisions of Minor-Transnationalism,” *Amerasia Journal* (UCLA), 45(3), pp. 391-395.
- 2019 竹沢泰子、ジャン＝フレデリック・ショブ共著 「はじめに」 『人文学報』第114号、1-5頁。
- 2019 「明治期の地理教科書にみる人種・種・民族」 『人文学報』 第114号、205-238頁。
- 2017 “Antiracist Knowledge Production: Bridging Subdisciplines and Regions,” *American Anthropologist*, 119 (3), September 2017, pp. 538-540.
- 2016 (齊藤綾子・竹沢泰子) 「序章 差異の可視性／不可視性」 齊藤綾子・竹沢泰子編『人種神話を解体する 1：可視性と不可視性のはざままで』 東京大学出版会、3-32頁。
- 2016 「試論 差異と差別の（不）可視化をめぐって」 同上、249-264頁。
- 2016 (太田博樹・加藤和人・竹沢泰子・徳永勝士) 「第10章 日本におけるゲノム研究と集団の表象——座談会」 坂野徹・竹沢泰子編『人種神話を解体する 2：科学と社会の知』 東京大学出版会、273-299頁。

- 2016 「序章 混血神話の解体と自分らしく生きる権利」川島浩平・竹沢泰子編『人種神話を解体する 3：「血」の政治学を越えて』 東京大学出版会、3-34 頁。
- 2016 「第 8 章 ミックスレイス日系人アーティストの作品と語り—人種カテゴリーをめぐる解釈と表現の戦略」同上、249-274 頁。
- 2016 “Rethinking ‘Race’ from Asian Perspectives”, in *Ethnicity as a Political Resource*, Transcript Verlag (Bielefeld, Germany), pp. 75-84.
- 2016 “Introduction”(with Gary Y. Okihiro), in *Trans-Pacific Japanese American Studies: Conversations on Race and Racializations* (Yasuko Takezawa and Gary Y. Okihiro, eds.) University of Hawai’i Press, pp. 1-10.
- 2016 “Shifting Grounds in Japanese American Studies: Reconsidering ‘Race’ and ‘Class’ in a Trans-Pacific Geopolitical-Historical Context,” *ibid.*, pp. 13-35.
- 2016 “Negotiating Categories and Transforming (Mixed-) Race Identities: The Art and Narratives of Roger Shimomura, Laura Kina, and Shizu Saldamando,” *ibid.*, pp. 60-90.
- 2016 “Toward More Equal Dialogue,” *ibid.*, pp. 396-400.
- 2015 戦後 70 年関連企画「日系アメリカ人の経験と向き合う：戦前・戦中から現在まで」『季刊民族学』 第 39 巻 4 号 通巻 154 号、61-76 頁。
- 2015 “Translating and Transforming ‘Race’: Early Meiji Period Textbooks” *Japanese Studies*, 35 (1), Special Issue: Rethinking Race and Racism in Japan, pp. 5-21.
- 2015 “Rethinking Race and Racism in and from Japan”, *Japanese Studies*, 35 (1) Special Issue: Race and Racism in Japan, pp.1-3. (co-authored with Koichi Iwabuchi)
- 2014 Yasuko Takezawa, Kazuto Kato, Hiroki Oota, Timothy Caulfield, et al. “Human Genetic Research, Race, Ethnicity and the Labeling of Populations: Recommendations based on an interdisciplinary workshop in Japan” *BMC Medical Ethics*. (“Highly Accessed”に認定)
- 2014 「特集の趣旨」「創られた『人種』」（特集 3：中等教育でまなぶ「人種」「民族」とヒトの多様性）『学術の動向』 日本学術会議 2014 年 7 月号。
- 2012 “Problems with the Terms: ‘Caucasoid’, ‘mongoloid’ and ‘Negroid’”, in *ZINBUN*, no. 43, pp. 61-68.
- 2011 “Introduction,” in *Racial Representations in Asia*, Takezawa ed., Kyoto: Kyoto University Press, pp. 1-6.

- 2011 “ Toward a New Approach to Race and Racial Representations: Perspectives from Asia,” in Takezawa, *ibid.*, pp. 7-19.
- 2011 “New Arts, New Resistance: Asian American Artists in the ‘Post-race’ Era,” in Takezawa, *ibid.*, pp. 93-123.
- 2011 「序論—人種表象研究の今後の課題—」 『人文學報』（特集：差異の表象）100号 京都大学人文科学研究所、1-12頁。
- 2011 「序論 移民研究から多文化共生を考える」 日本移民学会編『移民研究と多文化共生』 御茶の水書房、1-17頁。
- 2011 「近代と人種の生成」 本多俊和（スチュアート ヘンリ）・大村敬一編『グローバル化の人類学—争いと和解の諸相—』 放送大学教育振興会、57-70頁。
- 2011 「現代におけるグローバル化と人種」 本多俊和（スチュアート ヘンリ）・大村敬一編『グローバル化の人類学—争いと和解の諸相—』 放送大学教育振興会、71-87頁。
- 2011 基調講演「女性から、マイノリティーから、周縁から生まれる～新しい発想の可能性を求めて～」 『「持続可能な女性研究者支援、筑波大スタイル」筑波大学ロールモデル集』 筑波大学男女共同参画推進室、9-23頁。
- 2010 「女性からマイノリティーから、周縁から生まれる～新しい発想の可能性を求めて～」 『持続可能な研究者支援、筑波大スタイル 平成21年度事業報告書』 国立大学法人筑波大学、10-33頁。
- 2010 “Race in Asia,” “Japan’s Minority Groups,” in *Encyclopedia Britannica’s Guide to Black History* (Editor’s Choice に選ばれる).
- 2009 *Proceedings of the CGP Public Symposium: Contemporary Society and Civil Society in the United States: Through the Eyes of the Japanese American Community.* (Takezawa ed.) Tokyo: Japan Foundation, 54p.
- 2009 「アメリカ人類学にみる進化論と人間の「差異」 太平洋を横断した人種論」 『現代思想』、37巻5号 青土社、202-220頁。
- 2009 「総論：表象から人種の社会的リアリティを考える」 竹沢泰子編『人種の表象と社会的リアリティ』 岩波書店、1-26頁。
- 2009 「ポスト多文化主義における人種とアイデンティティー—アジア系アメリカ人アーティストたちの新しい模索」 竹沢泰子編『人種の表象と社会的リアリティ』 岩波書店、266-290頁。

- 2009 「序—多文化共生の現状と課題」 『文化人類学』、74 巻 1 号別冊 日本文化人類学会、86-95 頁。
- 2008 “‘Tabunka Kyosei’ and Community-Rebuilding after the Kobe Earthquake.” John Ertl (eds.) *Multiculturalism in the New Japan: Crossing the Boundaries within Japan*, Berghahn Books, pp. 32-42.
- 2008 “Toward a New Kind of Collectivity in American Studies.” *Nanzan Review of American Studies*, vol. 30, pp. 75-81.
- 2007 「解説」 神部武宣著『さらばモンゴロイド』 生活書院、151-169 頁。
- 2007 「多文化共生社会に向けてのパートナーシップ—兵庫県における自治体と NGO の協働の歩み」 黒川みどり編『〈眼差される者〉の近代』 大阪：部落解放・人権研究所 251-281 頁。
- 2007 「兵庫県における多文化共生施策—評価と政策提言」 『財団法人ひょうご震災記念 21 世紀研究機構研究年報』第 13 巻 財団法人ひょうご震災記念 21 世紀研究機構 49-62 頁。
- 2006 “Race Should Be Discussed and Understood Across the Globe.” *Anthropology News*, American Anthropological Association. pp. 7-8. (アメリカ人類学会展示プロジェクト *Race: Are We So Different?* の参考文献として再掲。)
- 2006 「『外国人』としての日系人—多文化共生をめざす震災後の神戸のなかで」 レーン・ヒラバヤシ他編『日系人とグローバリゼーション 北米、南米、日本』人文書院、467-493 頁。
- 2006 「フィールドノートから」 奥田道大・松本康監修 広田康生他編集『先端都市社会学の地平』ハーベスト社、263-276 頁。
- 2006 「『人種』は存在するか」 綾部恒雄・桑山敬巳編『よくわかる文化人類学』ミネルヴァ書房、72-73 頁。
- 2006 「現代の人種差別」 綾部恒雄・桑山敬巳編『よくわかる文化人類学』ミネルヴァ書房、74-75 頁。
- 2005 「総論：人種概念の包括的理解に向けて」 竹沢泰子編『人種概念の普遍性を問う—西洋的パラダイムを超えて』 人文書院、9-109 頁。
- 2005 「検証テーマ：外国人県民支援のしくみづくりと地域の国際化の推進」『復興 10 年総括検証・提言事業 最終報告』 兵庫県復興企画課、1-49 頁。
- 2005 「人種 いま再び問う」 山下晋司編『文化人類学入門 古典と現代をつなぐ 20 のモデル』 弘文堂、80-91 頁。

- 2005 「アジア系アメリカ人のアソシエーション 日系市民協会・百人会」 綾部恒雄監修・編『結社の世界史 5 クラブが創った国アメリカ』 山川出版社 266-275 頁。
- 2005 “Transcending the Western Paradigm of the Idea of Race.” *The Japanese Journal of American Studies*, No. 16, pp. 5-30.
- 2005 「アイデンティティ・ポリティクスのジレンマ—アメリカ合衆国の現在—」 梶田孝道編『新・国際社会学』 名古屋大学出版会、220-237 頁。
- 2005 「大震災とエスニック関係の変化」 「『GONGO』—震災が生んだ多文化共生に向けての自治体・NGO の連帯」 財団法人阪神・淡路大震災記念協会編『「21 世紀文明の創造」調査研究事業 研究報告書（第四部会）大震災とエスニック関係の変化【多文化共生研究会】』 財団法人阪神・淡路大震災記念協、1-26 頁。
- 2004 “Cultural Particularism vs. Oppressors’ Universalism: Comments on Kurashige’s Paper.” Brian Hayashi and Yasuko Takezawa (eds.) *New Waves: Japanese American Studies in the 21st Century*. Kyoto: Institute for Research in Humanities, Kyoto University. pp.37-41.
- 2004 「アメリカ合衆国—揺らぐ境界・揺らがぬ境界」 青柳真智子編『国勢調査の文化人類学』 古今書院、273-294 頁。
- 2003 「人種とアメリカ人類学」 綾部恒雄編『文化人類学のフロンティア』 ミネルヴァ書房、3-30 頁。
- 2003 「アメリカ人類学にみる進化論と人種」 阪上孝編『変異するダーウィニズム—進化論と社会』 京都大学学術出版会、452-489 頁。
- 2002 “Nikkeijin and ‘Multicultural Coexistence’ in Japan: Kobe after the Great Earthquake” Lane Ryo Hirabayashi, et.al. *New Worlds, New Lives: Globalization and People of Japanese Descent in the Americas and from Latin America in Japan*, Stanford University Press, pp. 310-330.
- 2002 「アメリカ合衆国の国勢調査：その歴史的变化と最新の人種分類」 『国勢調査・法制度に見られる人種・民族分類の比較研究』平成 11-13 年度科学研究費補助金(B-1)研究成果報告書(研究代表者：青柳真智子)、73-81 頁。
- 2002 「アメリカ人類学にみる進化論と人種学」 『「進化論」受容の社会的・文化的文脈にかんする学際的・比較研究』平成 12-13 年度科学研究費補助金(B-2)研究成果報告書(研究代表者：阪上孝)、97-119 頁。
- 2001 「アメリカ合衆国における二言語教育—最近の論争と効果的教育モデル」 金宣吉編『日系南米人の子どもの母語教育』 KFC 創刊、73-81 頁。

- 2001 「社会的構築物としての人種概念に関する理論的考察」 『平成 11-12 年度科学研究費補助金(C-2)研究成果報告書』、97 頁。
- 1999 “The Great Hanshin-Awaji Earthquake and Town-Making Towards Multiculturalism” *ZINBUN* 34-2, pp. 87-99.
- 1999 「アメリカ合衆国におけるアジアとヨーロッパ—アジア移民とヨーロッパ系アメリカ人の遭遇と葛藤—」 『岩波講座 世界歴史』 23 巻 岩波書店、111-134 頁。
- 1999 “Racial Boundaries and Stereotypes: An Analysis of American Advertising.” *The Japanese Journal of American Studies* (アメリカ学会編) No.10. pp. 430-450.
- 1999 “The Great Kobe Earthquake and Foreign Residents: Multicultural Coexistence in the New Concept of Local Community.” 駒井洋編 『新来外国人の行政需要と自治体の国際化施策との関連に関する研究』 平成 8-10 年度科学研究費補助金(基盤研究(B)(2)) 研究成果報告書、2-15 頁。
- 1999 「『人種』 生物学的概念から排他的世界観へ」 『民族学研究』 (日本民族学会編) 63 巻 4 号、430-450 頁。
- 1998 「グローバルゼーションと移民研究」 『移民研究年報』 (日本移民学会編) 5 号、68-81 頁。
- 1997 「西欧中心的人種分類の脱構築に向けて」 青柳真智子編「いま人種・民族の概念を問う」 『民族学研究』 62 巻 1 号、106-108 頁。
- 1997 “Multiculturalism and Citizenship: The Effects of the 1996 Immigration Laws.” *In Diversified Migration Patterns of North America: Their Challenges and Opportunities*. Kitagawa Otsuru Chieko (ed.) JCAS Symposium Series 4 *Population Movement in the Modern World II*, pp. 237-260.
- 1997 「アジア人移民の帰化権問題と『人種』」 三輪公忠編『日米危機の起源と排日移民法』 論創社、219-255 頁。
- 1997 「アメリカ合衆国におけるエスニック集団の統合化—汎エスニシティの形成」 ハラルド・クラインシュミット/波多野澄雄編『国際地域統合のフロンティア』 彩流社 231-251 頁。
- 1996 (紙上シンポジウム) 「転換期における人類学」 『民族学研究』 60 巻 4 号、377-432 頁。

- 1996 「『白人』と『黒人』の間で—日系アメリカ人の自己と他者—」 青木保他編『講座 文化人類学 第7巻—移動の民族誌—』岩波書店、263-292頁。
- 1996 「アメリカ文化人類学の現在」 祖父江孝男編『文化人類学』放送大学、167-182頁。
- 1996 「トランスナショナルな移動と文化摩擦の重層化—日系企業とアフリカ系アメリカ人の相互関係の実態—」 『社会学ジャーナル』（筑波大学社会学研究室紀要）21号、14-27頁。
- 1995 「人種差別」と”レーシズム”をめぐる日米比較に向けて」 『社会学ジャーナル』（筑波大学社会学研究室紀要）20号、113-122頁。
- 1994 「エスニシティ」「コミュニティ」 『日本の移民研究』 移民研究会編 日外アソシエーツ、63-70頁。
- 1994 「『オリエンタル』から『アジア系アメリカ人』へ」 AALA Journal（アジア系アメリカ文学研究会）創刊号、9-14頁。
- 1994 「日系企業とアフリカ系アメリカ人をめぐる諸問題」 橋本晃和編『地域レベルで国際化が進展している中での海外進出した日系企業の現地雇用者の意識構造の変化とその企業の地域定着に関する調査研究』 雇用促進事業団、251-260頁。
- 1994 「アメリカにおける帰化権からみた人種概念—考察」 『史境』（歴史人類学会編）19号、36-48頁。
- 1994 “Rebuilding Los Angeles and Philanthropic Activities by Japanese-Affiliated Companies: A Preliminary Report” 『社会学ジャーナル』19号、44-56頁。
- 1993 「日系アメリカ人におけるエスニシティ再生とアメリカ化」 『アメリカ研究』（アメリカ学会編）27号、171-188頁。
- 1993 「サンフランシスコにおけるチャイナタウン—1965年移民法改正後の社会変化」 綾部恒雄・小野沢正喜編『環太平洋地域の華僑社会における伝統と変化』筑波大学、207-225頁。
- 1993 “San Francisco’s Chinatown: Its Social Changes after the 1965 Immigration Law” In Proceedings of Symposium: *Continuity and Change in Overseas Chinese Communities in the Pan-Pacific Area*. T. Ayabe and M. Onozawa (eds.) pp. 205-224. （同書英語版）

- 1992 「太平洋に架ける橋——日本・中国・韓国系文化」 綾部恒雄編『アメリカの民族』 弘文堂、246-264 頁。
- 1992 「ピューリタンの夢——アングロサクソン文化」 綾部恒雄編『アメリカの民族』 弘文堂、8-63 頁。
- 1991 「日米関係の社会的・文化的副産物——第二次世界大戦と貿易摩擦下での日系アメリカ人の地位と意識——」 『外交時報』 No.1283、35-51 頁。
- 1991 “Children of Inmates: The Effects of the Redress Movement among Third Generation Japanese Americans.” *Qualitative Sociology* (U.S.A.), vol. 14 pp. 39-56.
- 1989 (対談) 「日本における日本人移民・日系アメリカ人研究」 『アメリカ研究資料センター年報』 13 号、49-54 頁。
- 1989 「日系アメリカ人における『伝統の創出』とエスニシティ」 『史境』 (歴史人類学会編) 19 号、53-66 頁。
- 1989 「アフロアメリカ研究の最近の動向——アフロセントリック理念からの文化論を中心に」 『アメリカ研究』 (アメリカ学会編) 23 号、165-174 頁。
- 1987 「アメリカ合衆国におけるステレオタイプとエスニシティ——広告とジョークにみられる民族像」 『民族学研究』 (日本民族学会編) 52 巻、363-390 頁。
- 1982 「サンフランシスコにおける日系人コミュニティ組織の生成過程からみる——考察」 『社会科学研究年報 シンポジウム「海外における日本人：移住・定住・企業活動」』 (龍谷大学) 12 号別冊、90-100 頁。

### 書評・事典・短文の報告書・新聞記事等 (2020-2019 のみ)

---

- 2020 Book Review of *In Search of Our Frontier: Japanese America and Settler Colonialism in the Construction of Japan's Borderless Empire*, by Eiichiro Azuma, *Ethnic and Racial Studies*, 2020.
- 2020 「米国の黒人暴行死の背景と反人種差別運動」 『商工ジャーナル』 10 月号、48-51 頁。
- 2020 「生物学的には「人種」は存在しない」 『月刊保団連』、10 月号 No. 1332. 1 頁。
- 2020 「ブラック・ライブズ・マター運動の背景と意義」 『Int'lcowk (イントゥレコウク) 国際経済労働研究』 10 月号 国際労働研究所。

- 2020 「そこが聞きたい 米黒人暴行死の背景 旧居住区政策、格差なお」  
『毎日新聞』 7月7日。
- 2020 『「ブラック・ライブズ・マター」肌の色が生死分けるアメリカの構造』  
(2020年) 『朝日新聞』 6月18日。
- 2020 How Discrimination Arises. KURN Bookshelves #3, Yasuko Takezawa.  
Kyoto University・ウェブ 3月13日。
- 2019 「根強い人種神話 差別乗り越える英知：人文考8」 京大人文研創立90周年  
『朝日新聞』 8月28日。
- 2019 【第5回】なぜ、人は人を分類したがるの!?：京大×ほとぜろ コラボ企画  
「なぜ、人は〇〇なの!?」 ほとんど0円大学・ウェブ 5月28日。

2018 以前は省略。HPをご覧ください。

#### 招待講演（過去10年間の国際会議のみ 他は省略）

---

- 2020 **“Migration and Xenophobia across the Pacific in the Time of COVID-19: Current problems in their historical context.”**  
2020年6月12日：カリフォルニア大学バークレー校。オンライン会議
- 2019 「アメリカ研究から考える環太平洋の人種経験 環大西洋との比較から」  
2019年10月4日：日本学術会議講堂、会議名：日本学術会議地域研究委員会地域研究基盤強化分科会公開シンポジウム「危機を超えて 地域研究からの価値の創造」。
- 2019 **“Theorizing Mixed Race in the Pacific and the Atlantic”**  
2019年5月7日：アイルランド国立大学ダブリン校。
- 2019 **“Race and Racialization from Pre-Modernity to Today: Juxtaposing Trans-Atlantic and Trans-Pacific Experiences”**  
2019年5月2日：ウプサラ大学（スウェーデン）。
- 2017 **“A TransPacific Model of Racial Mixing and Mixed Race Representations”**  
2017年2月24-26日：南カリフォルニア大学、会議名：Critical Mixed Race Studies Conference.

- 2017 **“Rebuilding and Redefining Kobe: the collaboration between governmental and non-governmental organizations after the 1995 earthquake”**  
2017年1月11日：東京大学本郷キャンパス、会議名：Harvard-UTokyo Conference: Asian Cities: Hubs of Interaction, Tradition and Transformation.
- 2017 **“A Parallel Pattern of Racialization?: Jews, “Gypsies,” and Kawaramono”**  
2017年1月5日：フランス国立社会科学高等研究院（EHESS）、会議名：How do Social Sciences address Race?
- 2016 **“Positonalities Matter: US- and Japan-based Scholars’ Reflections in Transpacific Japanese American Studies”**  
2016年3月12日：南カリフォルニア大学（アメリカ）。
- 2016 **“The Jews, the Roma/‘Gypsie’, and Kawaramono in Middle Ages: A Quest for Parallel Racialization Mechanisms”**  
2016年2月24日：カリフォルニア大学サンタバーバラ校（アメリカ）。
- 2015 **“ Parallel Marginalization Processes?: Jews, Roman People, and “Kawaramono” in Japan”**  
2015年10月15日：ケルン大学（ドイツ）。
- 2015 **“Beyond the Transatlantic Paradigm of Racialization: (In)visibility in Asia and Its Parallels in Europe”**  
2015年10月8日：トロント大学（カナダ）。
- 2015 **“Textbook Representations of Race”**  
2015年3月：南カリフォルニア大学、会議名：シンポジウム“Transpacific Convergence: Studying Nikkei and Race in the U.S. and Japan”
- 2015 **“Rethinking ‘race’ from a Japanese perspective”**  
2015年2月：デリー大学（インド）、会議名：シンポジウム“Embodied Discriminations: Ethnicism, Racism and Casteism: Comparative Perspectives from India, Japan and Korea”
- 2014 **“Racial Representations in Asia and Anglo-Saxon Countries”**  
2014年11月：バジェ大学（コロンビア）、会議名：International Seminar on “Recent Ethno-racial statistics in Colombia and Latin America”

- 2014 **“Towards a More Global Dialogue on Race and Ethnicity”**  
2014 年 4 月：ケルン大学（ドイツ）、会議名：International Conference  
“Conceptualizing Ethnicity as a Political Resource: across Disciplines,  
Regions, and Periods”
- 2013 **“Post-Identity Politics and Beyond: Narratives and Works by Three  
Artists with Japanese American Heritage”**  
2013 年 6 月：東京外国語大学、会議名：アメリカ学会第 47 回年次大会 基  
調シンポジウム”America at the Crossroads of Race and Politics: the 1960s  
to the Present”
- 2012 **“Race, Blood, and Color in Japan and Japanese America”**  
2012 年 9 月 26 日：清華大學人文社會科學院（台湾）。
- 2012 「日本における人種概念——教科書記述からみる変容と再生産」  
2012 年 5 月 25 日：延世大学 Graduate School of International Studies（韓  
国）。
- 2011 **“The Development of Multiculturalism after the Hanshin-Awaji  
Earthquake in Japan”**  
2011 年 12 月 15 日：韓国学中央研究院（ソウル）、会議名：国際会議  
“Multicultural Practices in East Asia”
- 2011 「皮膚の色が意味するもの——人種と人種主義」  
2011 年 12 月 10 日、会議名：神奈川大学第 3 回 国際常民文化研究機構 国  
際シンポジウム「“カラダ”が語る人類文化——形質から文化まで」。
- 2011 **“ The Lesson of the Great Kobe Earthquake and Changing  
Representations of Multicultural Coexistence in Japan”**  
2011 年 7 月 1 日：タスマニア大学（オーストラリア）
- 2010 **“Redefining Race from Asian Perspectives”**  
2010 年 10 月：慶尚大学（韓国）。
- 2010 **“Theories of Race from a Japanese Perspective”**  
2010 年 10 月：延世大学、会議名：Harvard University, Yenching Institute  
Alumni Conference.
- 2010 **“Three Dimensions of Race”**  
2010 年 10 月：延世大学（韓国）。

主催・共催・企画した国際シンポジウム、国際学会部会等  
(過去10年間の主要10点)

---

- 2020/10/11 日本学術会議公開シンポジウム 文化人類学分科会・自然人類学分科会・多文化共生分科会共催「with コロナの時代の人間の「ちがい」と差別～人類学からの提言～」 オンライン(東京大学 海部陽介さんと企画)
- 2020/6/21 慶應アメリカ学会と共催 緊急リレートーク「ブラック・ライブズ・マター運動の背景と課題」 オンライン (実質参加者490名、Youtube 再生回数約10800回)
- 2019/5/18-19 国際シンポジウム(日仏同時通訳)「人種主義・反人種主義の越境と転換」  
場所：京都アカデミアフォーラム in 丸の内  
フランスから4名、イギリスから1名、国内から10名登壇
- 2018/12/8 国際シンポジウム(日英同時通訳)「環太平洋の日系ディアスポラ・アート～マイナー・トランスナショナルリズムにみる遭遇と想像」  
場所：京都アカデミアフォーラム in 丸の内  
アメリカから3名、ブラジルから1名招聘。国内から8名登壇
- 2017/12/2 第116回アメリカ人類学会(American Anthropological Association)  
パネル：Between Visibilities and Invisibilities: Forms of Racism and Anti-Racism in the Twenty-first Century  
場所：マリオット・ウォードマン・パーク・ホテル(ワシントン D.C.)  
アメリカ2名、アイスランド1名、インド1名。日本3名登壇
- 2015/2/9 デリー大学と共催 Embodied Discriminations: Ethnicism, Racism and Casteism: Comparative Perspectives from India, Japan and Korea  
場所：University of Delhi  
韓国から1名招聘、日本から自ら講演
- 2014/5/17 国際人類学民族科学連合(IUAES)と共催  
Engaging Race and Racism in the New Millennium: Exploring Visibilities and Invisibilities  
場所：幕張メッセ Convention Hall B

竹沢泰子  
2020/10/01

アメリカ 3 名、アイスランド 1 名、ロシア 1 名、オーストラリア 1 名  
招聘。

2011/12/15-16 **国際シンポジウム（日英同時通訳）「人種神話を解体する」**

場所：国立京都国際会館

カナダから 1 名、アメリカから 2 名、韓国から 1 名、フランスから  
1 名招聘。

2011/10/13-14 **UCLA と合同主催シンポジウム“Japanese and Asian Americans:  
Racializations and Their Resistances”**

場所：カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)

アメリカ人 6 名、日本人 3 名登壇

2011/1/22 **国際文理融合セミナー「人文学とゲノム研究のインターフェイス」**

場所：京都大学人文科学研究所

アメリカより 3 名、イギリスより 1 名、シンガポールより 1 名招聘。

**他多数**

**以上**